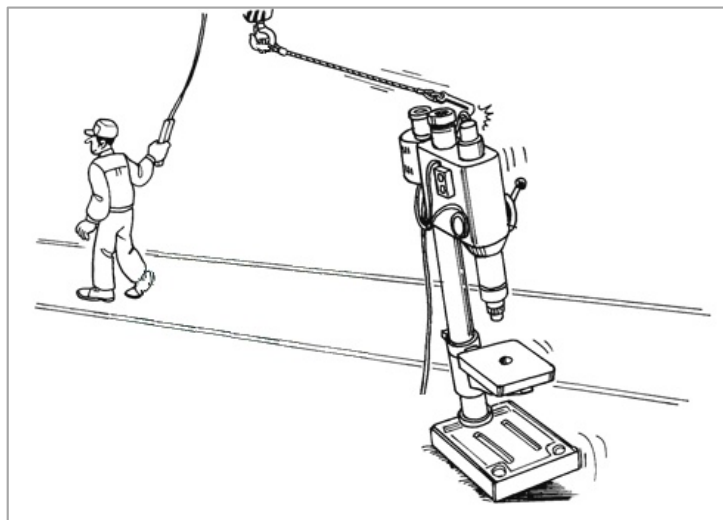


天井クレーンを走行させた際 ワイヤロープが引っ掛かり機器を損傷させた**【発生状況】**

空荷の天井クレーンを移動させる際、フックにワイヤロープをかけたままの状態ですぐにクレーンを走行させたため、ワイヤロープが周辺の機器に引っ掛かり機器を損傷させた。

【イメージ図】

**【原因・問題点】**

- ①ワイヤロープを外さずに天井クレーンを走行させた。
- ②クレーン走行の際、周囲の確認を行っていなかった。(ペンダントスイッチがクレーンの脚部に接続しており、天井クレーンと一緒に操作者も動かなければならなかったため、確認がおろそかになった)

【対策】

- ①空荷で天井クレーンを走行させる際は、ワイヤロープ等の吊具を外す。
- ②天井クレーンを走行させる際は、周辺機器や走行経路、フックの状況をよく確認する。操作者が確認しづらい状況の際は、確認できる者を配置し連絡合図に従って操作する。